

ナレッジ・レビュー アンダーウォーター・ナチュラリスト

生徒の皆さんへ：以下の質問に答えを記入し、次回のトレーニング・セッションのときに持ってきてください。

1. “エコロジー（生態学）”と“エコシステム（生態系）”を定義してください。

エコロジー：

生物とその生息環境との相互関係についての研究。

エコシステム：

生物とその生息環境が一体のものとして機能している複合体。

2. 水中のエコシステムと陸上のエコシステムの物理的 / 構造的違いを3つあげてください。

（答えは人によって異なる）

3. 水中生物が“攻撃”してくる、最も一般的な理由は何ですか？

防御的な反応

4. 危険性のある水中生物についての正しい考え方とは何ですか？

挑発されるなどの理由がない限り、動物の方から攻撃してくることはまれである。動物は悪意から攻撃はしないものである。人間は水中では弱い立場にいるため、水中生物による攻撃が実際より激しいものに見えるのである。（他にも様々な答えが可能）

5. 水中生物に対して人間が持っている間違った先入観を4つあげてください。

1. **危険で攻撃的**
2. **家畜やペットと同じで危険はない**
3. **生きていなくて動かない物体**
4. **人間と同じような性格を持っている**

6. 水中生物と受動的に接する方法とは何ですか？

水中の生き物にできるだけ影響を与えないように動く。さわる、いじる、またがる、スピアで突く、収集する、餌を与えるなどの行動はしない。器材はブラブラしないように固定し、良識あるダイビング・テクニックを用いる。

7. どのようなとき、どのようなやり方なら、水中生物にさわったり、手で持ったりしてもよいですか？

特定の生き物に経験がある人なら、さわったり、手で持ったりしてもよい。ただし、動物の本来の行動を妨げるようなやり方で行ってはならない。

8. 水中生物にまたがったりしてはいけないのはなぜですか？

そんなことをして、その生物にとって良いことはひとつもない。

9. 魚や水中生物に餌をやるとしたら、どのような方法で行ったらよいですか？

餌付け用に持っていった餌を与える。餌の量はできるだけ控え目にする。同じ場所で同じ生物に定期的に餌を与えてはならない。

10. 水底に生息する生き物を守り、すべての水中生物の生活をできるだけ妨害しないダイビング・テクニックについて述べてください。

中性浮力を取り、着底しないで水底と平行の姿勢を保つ。フィンはできるだけ動かさないようにし、使うときにはゆっくりと動かす。大きくキックする必要があるときには、水底から離れて行う。

生徒声明：私はこのナレッジ・レビューにできる限り答えを記入し、答えを間違えた問題、あるいは答えが不完全だった問題については、説明を受け、何を間違えたかを理解しました。

署名 _____ 日付 _____

アドベンチャー・ダイブ：アンダーウォーター・ナチュラリスト

スキルの概要

ナレッジ・レビュー

ブリーフィング

器材の装着

プレダイブ・セーフティ・チェック

エントリー

潜降

水中植物の識別

水中無脊椎動物の識別と観察

水中脊椎動物の識別と観察

浮上 - 安全停止

エキジット

ディブブリーフィング

ログブック記入 - アドベンチャー・ダイブ・トレーニング・レコードに必要事項を記入